

# 平成 28 年度 浜松情報専門学校 学校自己評価・学校関係者評価 評価報告書

## 1. 教育理念・教育目標

〈教育理念〉

社会で自立するために必要な人間力と高い専門技術を有する人材を育成し、地域社会に貢献する。

〈教育目標〉

本校は、教育基本法に則り、学校教育法に従い、産業の発展に対応する情報処理及び関連する技術と、商業分野における実務教育及び関連する部門の技術を教育するとともに教育に関する学科、一般教養に関する学科も授けて、知性高く教養の高い近代的な中堅技術者を養成し、地域の振興に寄与することを目的とする。

## 2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

- ①入学定員 210 名以上の入学生を確保
- ②新設 2 学科の安定した学科運営に向けた情報収集・検討とその実行
- ③職業実践専門課程申請への取り組み
- ④就職内定率 95% 以上（前年目標 90%）
- ⑤退学率を 5% 以内に抑える
- ⑥西部地区 3 校の将来構想を構築する

## 3. 評価項目の達成及び取組状況

評価方法： 4（適切） → 3（ほぼ適切） → 2（やや不適切） → 1（不適切）

### （1）教育理念・目標

評価欄

1-1	教育理念並びに教育目標が明確に示されているか	4
1-2	学校における職業教育の特色は何か	4
1-3	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4
1-4	理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	3
1-5	各学科の教育目標、育成人材像は、業界のニーズに向けて方向づけられているか	4

学校自己評価 平均

3.8

#### 成果と課題

教育理念並びに教育目標は学生便覧に記載しており、入学時に説明している。教育目標は社会ニーズに応じて毎年見直しを行っている。本校では様々な産業種と係わる学科を運営していることから、実務者および実務経験者などからの意見を伺い反映する仕組みを導入している。専門学校としての事業継続性を高めるため、各分野における環境変化、業界動向などを据えた将来計画を法人全体で取り組み第 3 期中期計画（H29.4～H34.3）を作成した。

#### 今後の改善方策

現在専門学校部門全体での第 3 期中期計画を作成した。専門学校部門としての人員配置計画も含まれるため、着実にこれを履行していくことが一つの指針となる。今後の育成人材像の検討および将来構想の検討を行う。またその結果を踏まえた告知、広報活動計画を策定することとなる。

#### 学校関係者 評価コメント

学生が就学中にも年々変化があるならば、都度すり合わせが必要ではないか。

学校関係者評価平均

3.8

## (2) 教育活動

2-1	シラバスが作成され学生に配布されているか	4
2-2	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
2-3	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
2-4	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか。	4
2-5	関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	3
2-6	授業評価の実施・評価体制はあるか	3
2-7	成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	4
2-8	資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
2-9	人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	3
2-10	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	3
2-11	関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	3
2-12	目標に到達しない学生に対し適切なフォローがなされているか	3
<b>学校自己評価 平均</b>		<b>3.5</b>

### 成果と課題

#### ①②③④⑦⑧

カリキュラムは体系的に編成されており、実践的な職業教育も取り込んでいる。授業の実施と評価についても年度開始時に整備されており、説明資料として学生便覧（シラバス、教育課程表、成績評価基準、資格取得体制）を編綴し、学生に配布・説明をしている。専門学校に対する認知の多くを資格取得が占めていることもあり、カリキュラム内において各学科ともに整備している。

⑨⑩教育人材の確保については喫緊の課題である。各学科とも専門性の高い領域であるため、採用においてもマッチする人材がないのは業界側の採用と同じである。このため専任教員の資質向上は当然の対策であり、学外研修などを含め教育の質を向上することを教務体制として指示・指導している。

⑤産学連携については一部の学科で実施している（一部の技術分野においては学内の実技・実習は可能でも、産業界に受け入れの器がなく産学連携が不可能なケースが存在する）。特にIT系では未開・未踏領域が多く産業界と連携できない場合がある。

⑥授業評価の仕組みは継続的な実施ができていない。また評価項目に継続的な観察項目、変化を把握する項目がない。主観評価はあるが、アンケート対象者が変わっても定点観察可能な仕組みの開発が必要と感じている。

⑪カリキュラム見直しは、職業実践専門課程申請要件である関連産業・企業からの意見を聴取する仕組みが、一部の学科で未導入である。

⑫目標に到達しない学生に対するフォローは補習等により対応しているが、学生側の当該職業種への意欲が無い場合には、補習も成立しないため万全な体制とはいえない。

### 今後の改善方策

- ・教育目標（カリキュラム）の見直しは今後行うが、企業様からの意見聴取も積極的に取り組む。
- ・専門学校は研究より実務者教育が主体である。新規分野のカリキュラム導入判断は質の保証が担保できる様に十分

な検討を重ねていく。

- ・ 学生に対する満足度調査・授業アンケート内容を精査し、経過観察可能な仕組みを確立する。

#### 学校関係者 評価コメント

教育課程編成委員会へ参加したこともあり、学校側の努力を直に感じました。

実務者養成校として資格取得率の向上を通して企業の養成にこたえていくことは王道であるので、3-2の評価が高いことは喜ばしいと思う。

資格取得も重要であるが、即戦力となりうる技術の習得に注力していただけるとよい。

2-6が継続的に今後の対応を期待します。

学校関係者評価平均

3.5

### (3) 教育成果

3-1	就職率の向上が図られているか	4
3-2	資格取得率の向上が図られているか	3
3-3	退学率の低減が図られているか	2
3-4	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3
学校自己評価 平均		3.0

#### 成果と課題

①就職支援の仕組みを強化し、前年に比べ就職内定率が向上した。(本年内定率99.2%、前年98.7%)

②資格取得に関して、合格率の向上を図るために資格検定試験特別授業(資格対策授業)を実施しているが、その実績を踏まえたPDCAを回し始めた。

③目標退学者率5%以内に対し10.0%(昨年度目標退学者率3%、実績5.1%)となった。退学者の1/3は留學生であり、素行不良(就労目的者など含む)がほとんどであった。また大学進学を前提とした入学者もおり大学合格による退学者が4名含まれている。その他学生の退学理由には学業上の理由と申告されているものの中に、学費滞納等金銭的理由を退学申請時に学業上/一身上の都合とするケースも多い。こうしたケースも全体の1/3を超えているが学校として対応できる範囲を超えており憂慮している。

④同窓会が継続的に運営されており、卒業生の社会的な活躍についても同窓会より情報提供を受けることも多い。今後も同窓会運営については学校としても協力を続ける。在校生についてはビジネスライセンス科のSOHOしずおかビジネスプランコンテストやコンピュータ科、ゲームクリエイト科のNTTdocomoNCF2016参加、こども保育科の近隣幼稚園・保育園への夏祭り、クリスマス会ボランティア参加等様々な面で社会活動への参加を行うことができた。

#### 今後の改善方策

- ・ 資格取得率を向上させるため、PDCAサイクルを回しはじめた。改善を積み重ねていきたい。
- ・ 同窓会との協力により卒業生の活躍を把握し、学校と卒業生のネットワークを深化させていきたい。

#### 学校関係者 評価コメント

3-3は何らかの対応が必要だと思われませんが、学校としてできる範囲を超える部分もある。

一番の問題は入学者が年々減少していることだと思われま。

退学率については学校として対応できる範囲を超えているのではないかと思います。学校として対応できる範囲ならば適切に対応しているのではないのでしょうか。

学校関係者評価平均

3.3

#### (4) 学生支援

4-1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
4-2	学生相談に関する体制は整備されているか	4
4-3	学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4
4-4	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3
4-5	保護者と適切に連携しているか	4
4-6	卒業生への支援体制はあるか	3
4-7	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4
<b>学校自己評価 平均</b>		<b>3.7</b>

#### 成果と課題

①在校生に対する就職等支援体制は専任スタッフを配置し、就職ゼミ体制も運用している。求人情報は学内ネットワークから自分のパソコンで参照することもできる。②学生相談はクラス担任制や専任カウンセラーによるカウンセリングを希望制により実施している。③経済面における支援体制では学生支援機構の奨学金制度と本学校法人独自の学費サポートプランが利用でき、今後も継続していく。④健康管理については年1回の健康診断に基づく健康指導はあるが法令上の要件を満たしているだけであり独自の健康管理体制ではない。⑤保護者との接触機会は定例として後援会総会、就職説明会がある。学生指導として出欠席指導、成績不良者に対する保護者連絡等は常に実施しており、学生の変化を状況に応じて共有する体制をとっている。⑥卒業生への再就職支援体制を整備し運営を開始した。⑦高校等の連携については、高校側からの依頼によるキャリア教育・職業教育を各種職業分野において実施している。

#### 今後の改善方策

今後も継続して就活ゼミ制度を実施運用し、就職活動をサポートする。また保護者との連携を強化するための情報配信を検討する。

#### 学校関係者 評価コメント

保護者との連携を強化する情報配信を検討ということで、現状の連携では不足しているという認識がある。学習に配慮が必要な学生についての保護者との連携についての取り組みが知りたい。

**学校関係者評価平均** **3.6**

## (5) 教育環境

5-1	講義室、実習室の管理は適切に行われているか	4
5-2	実習室及び講義室は学生の自習室として開放しているか。	3
5-3	教育用機器備品は整備されており活用されているか	4
5-4	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されている	3
5-5	防災に対する体制は整備されているか	3
<b>学校自己評価 平均</b>		<b>3.4</b>
<b>成果と課題</b>		
<p>①講義室、実習室は管理担当者（教員）を割り当てている。②実習室にはパソコンなど高額資産が設置されているため、自習室としての全面開放はせず、担当教員の許可・監視の下で利用している。③教育用機器備品は、授業利用計画に従い整備している。④3校併設の現状により施設・設備を配置する場所、自主学習をするための場所は慢性的に不足している。⑤現在、防災に対する体制整備はされている。特に地震時には「建物内に待機」することを消防署よりの指摘として受けたため、避難計画についても火災と地震で対応を分けることとした。</p>		
<b>今後の改善方策</b>		
<p>平成31年に日本語学院が移転するため、慢性的な施設・設備の整備計画を立案し、今後の活動に反映する。</p>		
<b>学校関係者 評価コメント</b>		
<p>プロジェクトは大型のものを設置し、後方からも見えるようにすると大きく改善される。 実習室の自習室開放については、課題に書かれている運用で適切と判断します。</p>		
<b>学校関係者評価平均</b>		<b>3.5</b>

## (6) 学生の募集と受け入れ

6-1	入学案内には志願者が必要とする情報が掲載されているか	4
6-2	募集要項の内容は適切か	4
6-3	学生募集活動は、適正に行われているか	4
6-4	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
6-5	学納金は妥当なものとなっているか	4
<b>学校自己評価 平均</b>		<b>4</b>
<b>成果と課題</b>		
<p>①②入学案内・募集要項については、虚偽のない正確な情報掲載に常に努めている。③募集活動は、一般常識に照らして適正である。迷惑行為とならない様、常に配慮し学校としての社会的な信頼を損なう行為はしていない。④各分野に進路選択を検討している入学対象者および保護者・関係者が必要とされる情報の掲載に努めている。学生の実績、就職状況についても最新のものを提供するよう努めている。⑤学納金については過剰、過少とならないように努めている。当然のことながら効率的な経営を日々努力している。</p>		
<b>今後の改善方策</b>		
<p>今後も継続して紳士的な募集活動を行っていく。学納金については、教育の質の維持・向上、施設整備、消費税率など内外の要因を見極め、内部の効率的運営に努めながら適切に判断していく。</p>		
<b>学校関係者 評価コメント</b>		
<p>コメントなし</p>		
<b>学校関係者評価平均</b>		<b>4</b>

## (7) 教職員組織、学校運営・管理、財務、法令等の遵守

7-1	教職員の能力、業務内容の評価を定期的実施しているか	4
7-2	組織間、各部署間の連携は適切に図られているか	4
7-3	非常時の危機対策管理に対する周知は徹底されているか	4
7-4	消防計画、学校安全計画は適切に整備し、防災訓練等は実施されているか	4
7-5	目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
7-6	事業計画に沿った運営方針が策定されているか	4
7-7	運営組織や意志決定機能は、規則等で明確化されているか、有効に機能しているか	4
7-8	人事、給与に関する制度は整備されているか	4
7-9	教務・財務等の組織整備など意識決定システムは整備されているか	4
7-10	教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4
7-11	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4
7-12	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
7-13	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
7-14	財務について会計監査が適正に行われているか	4
7-15	財務情報公開の体制整備はできているか	4
7-16	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
7-17	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
7-18	自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4
7-19	自己評価結果を公開しているか	4
7-20	ハラスメントに対する防止対応策が整備されているか	4
<b>学校自己評価 平均</b>		<b>4</b>
<b>成果と課題</b>		
<p>①法人内人事評価制度にしたがい実施している。②教務・総務・広報部門間が連携して業務上の様々な問題解決に取り組んでいる。③④非常時における危機管理対策については、法人全体での対応が周知されており、学校毎の消防等安全に対する対応は常に行っている。⑤⑥⑨学校としての目的、事業計画に沿った運営方針は毎年策定され、学校組織の体制も常に見直しを行っている。⑦⑧就業規則を含む諸規程は整備されており、一部抜粋が規程集として全職員に配布され、また全ての規程集については電子化されており、教職員がパソコンの画面で自由に閲覧できるよう整備されている。⑩情報システムを用いた業務の効率化はすでに実施しており、改善を含め今後も継続していく。</p> <p>⑩⑨教育活動に関する情報公開はホームページやパンフレット等を通して最新の情報を提供している。本評価についても公開している。</p> <p>⑫⑬⑭⑮予算主義を基本とした運営に努めており、財務情報の公開、会計監査など経営上必要となる法令は遵守している。⑯常に適合するよう運営している。⑰個人情報の取り扱いについては教職員への教育・指導を行っており、現時点で問題となる事例は発生していない。⑳ハラスメント防止のための委員会を設けている。</p>		
<b>今後の改善方策</b>		
「教育の質」を向上させつつ、効率的な経営に努める。法令順守を徹底し、保護者からの信頼の維持に努める。		
<b>学校関係者 評価コメント</b>		
コメントなし		
<b>学校関係者評価平均</b>		<b>4</b>

## (8) 社会貢献・地域貢献、国際交流

8-1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4
8-2	留学生の受入れ・派遣等において適切な手続き等がとられているか	4
8-3	留学生の受入れに対して、学内での適切な体制が整備されているか	4
<b>学校自己評価 平均</b>		<b>4</b>
<b>成果と課題</b> 浜松科学館の小学生向け講習会や、高校生向けワープロ競技会、E T ロボコン講習会、中学校/高等学校などからの職業体験授業実施等、各種専門分野における受け入れ/施設活用を多数行っている。 留学生に対しての分掌担当者を取り決め、各種法令に従った適切な受け入れ手続きを行っている。		
<b>今後の改善方策</b> ・地域貢献につながる取り組みをさらに強化し、開かれた学校として施設利用の促進を行っていく。 ・留学生の支援体制をさらに強化する。		
<b>学校関係者 評価コメント</b> コメントなし		
<b>学校関係者評価平均</b>		<b>4</b>